

国境を越える 世界遺産とは

2008年7月現在、10件の自然遺産、10件の文化遺産、1件の複合遺産が、国境を越える世界遺産として登録されている。国境を越える遺産とは何か、どのようにして生まれたのかを探ってみる。

東京大学大学院教授 西村幸夫

国境を越える世界遺産は、当初自然遺産を中心に提案されてきた。これは、顕著で普遍的な価値を有する自然を、国境という人為的な線にとらわれず、両国あるいは多国間で出来る限りにおいて共同かつ協力しながら管理しているという目的があったためである。

これに対し、文化遺産は特色を持つ広大な文化的景観を守るために、国を超えて保全施策が必要になる場合もあるが、それ以外に、ある民族的・文化的伝統の範囲が、それ以降に人為的に引かれた現在の国境線と一致しないために、結果的に国境を越える遺産登録とならざるを得ない場合が少なくない。

世界遺産条約履行のための作業指針には、「連続性のある資産」として、
(a) 同一の歴史・文化群に属するもの
(b) 地理区分を特徴づける同種の資産であるもの

(c) 同じ地質学的、地形学的形成物、又は同じ生物地理区分若しくは同種の生態系に属するもの
の三つの分類が示されている(Ⅲ・C・137)。

国境を越える世界遺産の多くがこの3分類のいずれかに該当するが、近年、この分類にはあてはまらない文化遺産の提案が散見されるようになった。シュトゥルーヴェの三角点アーチ観測地点群のような科学的システムから導き出される複数の地点群や、2008年に提案書が提出された建築家ルコルビュジエの一連の建築・都市計画作品群などである。

遺産保護の国際協力を推進する立場からも、新しい文化遺産の考え方を推進する意味でも、新たな発想に立った提案が結果的に国境を越える世界遺産となる例が今後も増えることだろう。

表1 国境を越える世界遺産(自然遺産および複合遺産)

F.KUDO/PWH 2008.10

no.	世界遺産名	登録国	登録基準	登録年	世界遺産を構成する主な自然公園・自然保護区
1	クラーニー／ランゲル・セント・イライアス／グレイシャー・ベイ／タッチェンシニー・アルセク	カナダ、米国	自然(vii)(viii)(ix)(x)	1979 同時登録 1992-1994 拡大	2NPP, 1NPR, 1PWP
2	ニンバ山厳正自然保護区	コートジボワール、ギニア	自然(ix)(x)	1981 ギニア 1982 コートジボワール	2NR
3	モシ・オトウニヤ／ヴィクトリアの滝	ザンビア、ジンバブエ	自然(vii)(viii)	1989 同時登録	3NP
4	タラマンカ地方・ラ・アミスター保護区群／ラ・アミスター国立公園	コスタリカ、パナマ	自然(vii)(viii)(ix)(x)	1983 コスタリカ 1990 パナマ	5NP, 1PA, 1BR, 1FR
5	ベラヴェシユスカヤ・ブーシャ／ピャウオヴィエジャの森	ベラルーシ、ポーランド	自然(vii)	1979 ポーランド 1992 ベラルーシ	2NP
6	ウォータートン・グレイシャー国際平和自然公園	カナダ、米国	自然(vii)(ix)	1995 同時登録	2NP
7	アグテレック・カルストとスロバキア・カルストの洞窟群	ハンガリー、スロバキア	自然(viii)	1995 同時登録 2000 拡大	1NP, 1PLA
8	ピレネー山脈・ベルデュ山	フランス、スペイン	複合(iii)(iv)(v)(vii)(viii)	1997 同時登録 1999 拡大	2NP (自然遺産関連)
9	オプス・ノール盆地	モンゴル、ロシア	自然(ix)(x)	2003 同時登録	12C
10	クヴァルケン群島／ハイ・コースト	フィンランド、スウェーデン	自然(viii)	2000 スウェーデン 2006 フィンランド	1NP, 1NCA
11	カルパチア山地のブナ原生林	スロバキア、ウクライナ	自然(ix)	2007 同時登録	5CBR, 3NNR, 1NNP, 1PLA

BR=Biological Reserve, C=Cluster, CBR=Carpathian Biosphere Reserve, FR=Forest Reserve, NCA=Nature Conservation Area, NNP=National Nature Park, NNR=National Nature Reserve, NP=National Park, NPP=National Park & Preserve, NPR=National Park Reserve, NR=Nature Reserve, PA=Protected Area, PLA=Protected Landscape Area, PWP=Provincial Wilderness Park

表2 国境を越える世界遺産(文化遺産)

F.KUDO/PWH 2008.10

no.	世界遺産名	登録国	登録基準	登録年
1	グアラニーのイエズス会伝道施設群:サン・イグナシオ・ミニ、サンタ・アナ、ヌエストラ・セニョーラ・デ・ロレート、サンタ・マリア・ラ・マジョール(アルゼンチン)、サン・ミゲル・ダス・ミンソエス遺跡群(ブラジル)	アルゼンチン、ブラジル	文化(iv)	1983 ブラジル 1984 アルゼンチン
2	ローマ歴史地区、教皇領とサン・パオロ・フオーリ・レ・ムーラ大聖堂	バチカン、イタリア	文化(i)(ii)(iii)(iv)(vi)	1980 イタリア 1990 バチカン
3	クルシュー砂州	リトアニア、ロシア	文化(v)	2000 同時登録
4	フェルテール湖／ノイジードラー湖の文化的景観	オーストリア、ハンガリー	文化(v)	2001 同時登録
5	ムスカウアー公園／ムジャコフスキ公園	ドイツ、ポーランド	文化(i)(iv)	2004 同時登録
6	ローマ帝国の国境線	ドイツ、英国	文化(ii)(iii)(iv)	1987 英国 2005 ドイツ
7	ベルギーとフランスの鐘楼群	ベルギー、フランス	文化(ii)(iv)	1999 ベルギー 2005 ベルギー、フランス
8	シュトゥルーヴェの三角点アーチ観測地点群	ベラルーシ、エストニア、フィンランド、ラトビア、リトアニア、ノルウェー、モルドバ、ロシア、スウェーデン、ウクライナ	文化(ii)(iv)(vi)	2005 同時登録
9	セネガンビアのストーン・サークル群	ガンビア、セネガル	文化(i)(iii)	2006 同時登録
10	レーティシュ鉄道アルブラ線・ベルニナ線と周辺の景観	イタリア、スイス	文化(ii)(iv)	2008 同時登録